

# FICoN第9回ウェブ検討会 (R6.2.22)

## ○「森林サービス産業の地域への展開」

### <講演>

「森林サービス産業の創出・推進による山村振興」 林野庁 山村振興・緑化推進室 諏訪 幹夫氏

「森林空間利用と地域活性化」 (株)さとゆめ 浅原 武志氏

「森林の新たな価値を見出す“森林浴”と人材育成の取り組み」 (一社)森と未来 小野 なぎさ氏

「仙台・宮城における森林セラピストとしての実践」 (合)杜の日 及川 結氏

「地域の森林空間利用の社会実装の推進に貢献する研究分野の取組」 森林総合研究所 高山 範理氏

### <総合討論>

(司会) 森林総合研究所 宇都木 玄氏、(パネリスト) 上記講師の皆様

#### 【ポイント】

- ・ 成熟しつつある森林をフル活用し、山村地域の活性化に貢献するためには、森林資源のマテリアル利用(林業)とともに森林空間の利用(森林サービス産業)を推進していくことが重要。
- ・ 民間企業等において、森林空間の利用価値は上がってきている。注目を集める森林空間利用のポイントは、誰にどんなサービスを展開するのかであり、マーケティング的な観点がとても重要。
- ・ 森林空間×サービス提供には可能性あり。今後森林サービス産業を広めていくには、観光流動における人数、単価、ガイドの稼働数以外に、森林側への還元が見えるための評価指標が必要。
- ・ 地域の人材や資源を活用することで、持続的かつその地域でしか提供できない森林浴プログラムの開発や実施が可能になる。その推進には地域の方々との現場での試行錯誤が重要。
- ・ 森林サービス産業で必要とされるのはエビデンスに基づき社会実装に貢献する情報。情報共有を推進するには、実践者・行政・研究者らが集い情報共有できるフォーラムのような場所が必要。